

令和8年度 ときわ会 活動の重点と重点達成の方策



ときわ会
本旨

1. われらは人格の形成者としての社会的責任と自覚を堅持して進む者のつどいである。
2. われらはつねに厳しくみずから鍛え、相互に錬磨しあう者のつどいである。
3. われらは不朽の理想実現のために結集し、生生発展する者のつどいである。

【基本方針】 「志」を再確認し、「志」の実現に向け、主体性を活かした取組を推進すること

活動の重点

会員が自らの志に基づいて、資質・能力を高めていくことができるよう、ときわ会の多様な人材やつながりを活用し、ニーズに応じた魅力ある研修を推進する。

会員相互がつながりながら、自己を高めていくことができるよう、各種会合の内容と方法を工夫したり、会員のアイデアを活かしたりして、組織の活性化を図る。

ときわ会の理念や活動について、会員が一層理解するとともに、社会への認知を広げていくことができるよう、活動の情報発信を進め、会員内外のつながりを強固にする。

重点達成の方策

- (1) これからの社会で求められる力を育成する授業力を高める研修
- (2) 学校が直面している課題を解決するための研修
- (3) 探究的な学び、深い学びを支えるICTの効果的活用に関する研修
- (4) 環境整備と合理的配慮の提供を両輪とした特別支援教育に関する研修
- (5) 会員のニーズ及び本県教育の充実・発展に寄与する新規研修

- (1) 各種会合の目的に応じた内容や形式、時間帯等の工夫
- (2) 支部長及び校園長会員による会員一人一人への支援と活躍できる場の整備
- (3) 各地域や分野をリードする人材の計画的な育成と活躍する場の整備
- (4) 若手会員や少数の職種・校種の会員、自立会員等への支援の充実

- (1) 「エデュコにいがた」やSNS、ときわ会HP等による情報発信
- (2) 会員以外の講師招聘や研修会への参加呼び掛け等を通じた、外部との積極的な交流と情報発信
- (3) 行政機関、県内外の諸大学、他の研修団体、公益財団法人新潟教育会等の団体との交流と緊密な連携
- (4) 研修におけるICT活用や会員間の情報共有のためのよりよい方策の検討